

まるりん通信

世界自然遺産登録
20th
屋久島
2011年屋久島は、世界自然遺産登録20周年記念大会

第157号 平成25年7月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団

Tel.42-2911 FAX49-1018



開館記念イベントのお知らせ!

○映画上映会①～大人の方向けです!!～

7月27日(土)19:00～

(定員250名)

「最強のふたり」※先着順

場所:文化村センター映像ホール



○映画上映会②～親子で一緒にどうぞ!!～

7月28日(日)19:00～

(定員250名)

「シュガーラッシュ」※先着順

場所:文化村センター映像ホール



○まるりん撮影会

7月28日(日)9:00～17:00

1時間おきにまるりんがきてくれるよ。
一緒に写真を撮ろう～!



○かんたん工作遊び

7月28日(日)9:00～16:00

オリジナルうちわやキーホルダー作り、
ぶんぶんごまを作って遊ぼう!



○島民感謝デー

7月15日(月)から7月31日(水)までの間は
島民の方の観覧料が無料になります。

みんな遊びに来てね!!



○財団特別企画展

まるりん大作戦「100年前の屋久島 ここはどこ?」

～～みんなて探そうウィルソン博士の足跡～～

期間:7月27日(土)～8月10日(土)

主催:屋久島世界自然遺産登録20周年記念実行委員会

場所:文化村センター交流ホール



第3回屋久島自然・文化体験セミナー
屋久島感動めぐり

『子ども屋久島大冒険!』

開催日:平成25年8月8日(木)～11日(日)

対象:小学4年生以上

参加費:24,800円(3泊8食、保険料込み)

定員:先着20名

募集締切:平成25年7月25日(木)

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。

URL:<https://www.yakushima.or.jp/htdocs/>

スマートフォンの方はこちらから→



第2回星空観察会

わくわく『夏の星空観察会』!

開催日:平成25年7月15日(月・祝)

時間:19:40～21:00

参加費:無料

開催場所:宮浦小学校校庭

内容:夏の星座、恒星と惑星の話

大型望遠鏡、双眼鏡による星の観察

※天候不良の時は、内容の変更

または中止になる場合があります。

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。



平成25年度 屋久島研究講座

『屋久島の昆虫～こんなことがわからない～』

講師:金井 賢一(鹿児島県昆虫同好会)

山や森の中だけでなく、私たちの身の回りにいる
昆虫もじつは謎だらけ。このお話をきけば昆虫の分
からない所が分かって、新発見ができるかも!?

期日:平成25年8月18日(日)

対象:小学校高学年以上

時間:18:00～19:30

場所:屋久島環境文化村センター(宮之浦)

申込:電話予約(8月10日～)

(ガイド受講証が必要な方のみ)

※入場無料

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。



平成25年度 特別企画展

『やく島で、こんちゅう展』

期間:平成25年8月13日(火)～9月1日(日)

時間:9:00～17:00

場所:屋久島環境文化村センター(宮之浦)

※入場無料

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。

屋久島環境文化村センター、研修センターは7、8月は全日開館します!

ご家族、ご親戚、お誘い合わせてお越し下さい!!

(屋久島環境文化村センターは、7月1日(月)～10月31日(木)の間無休で開館します。)



～インストラクター便り～ 『自然に学び、自然と共に生きること』② 前平 理恵

前回、ひつつき虫やかたつむりからヒントを得て開発された人工物のご紹介をしましたが、私達の身の周りにはまだまだ多くの自然の知恵が活かされています。

タマムシやモルフォチョウの翅（はね）は、表面の微細な凸凹の配列により、金属のような光沢のある色彩に見えます。この色彩構造は、例えば絵の具のような色素や顔料の光吸収による発色ではないため、その構造が壊れない限り劣化の心配がなく、塗装や宝石カットの技術などに活かされています。

また、ガの眼の表面にも、月の光を効率よく取り入れるための小さい凸凹が規則的に配列されており、光を反射しない構造になっています。これにヒントを得て開発されたのが、ディスプレイ用の無反射フィルムであり、また太陽電池のパネルにも用いられ、エネルギー変換の効率向上にも活用されています。

私達が活用している自然の知恵は、こういった製品にだけでなく、実は社会体制にも取り入れられています。

何千匹という集団で生活するミツバチは、群れの共同作業によって、よりよい蜜を効率よく集めます。まず蜜を発見したハチは、ダンスを踊ってどこにおいしい蜜があるのかを他のミツバチに伝えます。すると、他のハチ達は蜜を集めに行きますが、一カ所に集まりすぎることなく、各蜜源に適切な数のハチが向かい、合理的に役目を果たします。このミツバチの行動研究から、どの仕事をどの順序で行うかを学んで、いくつかの仕事を効率的にこなし、一連の仕事に要する時間を最小にするスケジュールを学んだ人達があります。

自然の中には、私達がうまく生きていくヒントがまだまだたくさんあることでしょう。

もしかしたら人間から何かを学んでくれている生き物もいるかもしれませんね。

〈参考〉ネイチャーテクノロジーデータベース <http://www.naturetech-db.jp/>



◇◇◇財団の活動報告◇◇◇

○ふるさとセミナー「研修センターオープンデー」を開催

6月9日（日）、研修センターにおいて、「研修センターオープンデー」を開催しました。参加者はそれぞれのブースにおいてスライム作りやミツロウキャンドル作り、おもしろ理科実験に楽しく取り組みました。

当日はあいにく雨模様ではありましたが、103名の来館者があり、作った物を手に持ちながらうれしそうに帰る子ども達がたくさん見られました。



～トピックス～

7月4日（木）、ゆかり幼稚園の園長さんが来館され、子どもたちの夢がたくさんつまった七夕かざりをいただきました。この七夕かざりは文化村センターエントランスホールに飾っています。



子供たちの夢が
天に届きます
ように！

by まるりん

連載【屋久島を想う】85 世界遺産屋久島の持続可能な発展のために—島民のみなさんこそ主人公を胸に—



本島 勲（屋久島いとこ 屋久島関東ファンクラブ代表 元電力中央研究所・工学博士）

初めての屋久島空港、10年以上も前のこと「やっぱり」と思った。「一ヶ月に35日雨が降る屋久島」、空はどんよりと雨模様。2泊3日、毎日雨だった。

水はH₂O、重さ（中性子数）の違う三種類の酸素（O）と水素（H）の化合物。実は、重さの違う18種類の水が存在する。雨の水は夏（太平洋気団）軽く、冬（シベリア気団）重い。梅雨の雨は大陸の乾燥地帯の気団で重い。屋久島では、太平洋の黒潮が蒸発して中央に聳える御岳にぶつかり雨となるといわれる。ならば、一年中軽い雨か、梅雨は！3年間調査した。夏は軽く、冬は重い、そして梅雨も重く、中部日本と同じことが分かった。

この雨が洋上のアルプス屋久島の自然を育み、世界自然遺産に登録されて今年20周年を迎える。一方、昨年、世界遺産条約がユネスコ総会（1972 パリ）で採択されて40周年だった。その記念事業の最終会合が京都で開催され「京都ビジョン（2012）」が採択された。「世界遺産から生じる利益は、地域社会に公平に分配されなくてはならない」「地域社会の持続可能な発展なくして世界遺産を守ることは困難」であり「保護にかかわる地元」の重要性が呼びかけられた。

世界自然遺産を育む水の島・屋久島の持続的な発展のために、世界遺産を守り広めるために、その意義を正しく認識して行動しなければならない。屋久島の自然と共生し、固有の文化を営々と守り育てられた島民のみなさんこそ主人公であることを胸に。昨年は、荒木町長から「屋久島いとこ」を拝命した。その使命を自覚して。